

70年斗争を踏えて藤沢の学友に訴える!!

六〇〇日に及び日大解放斗争を斗い抜き  
今日70年安保斗争を踏え、再びの斗いを組  
まんとしている多くの学友諸君、現在我  
々の斗いは、大学当局の弾圧、古田強制  
化の中にあつて後退を余儀なくされていま。  
我々、更に多くの経験をつんだ仲間が、  
六〇〇日に渡る斗争を通じる中で、今日帝  
国主義者に対する斗いの責を引き継いだ結  
果、その引き出された敵が采りにも強大で  
あった為に（我々は主観的にそうとらえた  
一部の同志は斗争より去って行こうとし  
し又、全体的に悲憤感<sup>に覆られた</sup>が、  
確かに彼等は今日の我々にとって強大な敵  
である。然し我々は 斗争を遂げる中でつか  
んで来た古田なんてたいした奴じゃない、  
という確信と、斗いに勝つという信念と  
奴等を追い込む団結と、奴等に打ち向かう  
勇気をもって徹底した日常原則運動と本統  
斗争によつて、帝国主義者に対し我々が  
部内・部内の斗いを果敢に展開し、全局の  
斗いを推し進め大学を全ての仲間へ解放し  
全ての仲間の為の研究・学習をなす場所を  
保障し築き上げる作業を遂及するならば我  
々は必ず奴等を追撃するであらう。

以上の命題を把握し、現実を直視するな  
らば我々藤沢の学生は何を考へ如何に行動  
に移すかは容易であらう。

69年6・9月に於ける集会は僕達二年生  
にとって何を意味し、何を向いかけたのが  
現在、古田を中心として日大アウシエビツ  
ツ体制を築いて僕達を弾圧している。  
日大当局者は帝国民主化をじたといつてい  
な、手紙の何故僕達が、校舎があるにも  
か、わらう森の地に於いてこの様なアシ  
ハブ監獄教育を受けねばならないのか、校  
舎の廻りを不細工な鉄条網で囲み、学内に  
は監守の如く取員が鼻張り、各クラスに御  
用学生を配置し一般学生を弾圧している。  
更に又コンパ等の時に大番振舞いをして一般  
学友に対して押しつけ的の義理人情をうり  
つけ事ある時に利用しようとしている学生  
が一部にいる。しかし学友諸君、甘んじられ  
てはいけぬ。その時暗示的に三十余億円  
使源不明金の事を思い起こす<sup>べき</sup>ある。  
学友諸君、更に深く事に教授までが公正中  
立である筈の講義中に於いて、学生に後回  
響回精神を注入し、日大斗争の中で常に犯  
罪的役割をなした右翼、一部体育会、関東  
軍等を養育し、真の学生の仲間であり、正  
義の斗争を推し進めて来た多くの仲間に対  
し誹謗と中傷とを行なっている。又その中  
のS教授（日大斗争の中で一連して我々学  
生の仲間を流調する詭弁をもって多々し続  
けている）等をもって、自派風デツチ上げ